

山陽小野田市		記者発表 (資料配布)		令和6年9月25日												
宛先	記者各位			送付枚数 (本紙含む)	8枚											
担当部(課)名		担当部(課)長名		担当者役職氏名	連絡先電話番号											
協創部市民活動推進課		課長 河上 雄治		主任主事 田邊 碧	(0836) 82-1134											
件名	友好都市モートンベイ市 市長御一行の本市来訪について															
内容	友好都市オーストラリア・モートンベイ市のピーター・フラナリー市長をはじめとする御一行が本市とのさらなる友好関係を深めるために来訪されます。 歓迎セレモニーや市長表敬訪問、市議会表敬訪問、山陽小野田市立山口東京理科大学訪問等の滞在中のスケジュールについてお知らせいたします。															
	＜来訪者＞ 4名 <table><tr><td>ピーター・フラナリー</td><td>氏</td><td>モートンベイ市長</td></tr><tr><td>ポール・マーティン</td><td>氏</td><td>経済開発部門最高責任者</td></tr><tr><td>キャメロン・ヘザリントン</td><td>氏</td><td>経済開発部門主要投資リーダー</td></tr><tr><td>スチュアート・パーソンズ</td><td>氏</td><td>サンシャインコースト大学 理工学部学部長</td></tr></table> 来訪者の経歴については別紙1のとおりです。 滞在中のスケジュールについては別紙2のとおりです。					ピーター・フラナリー	氏	モートンベイ市長	ポール・マーティン	氏	経済開発部門最高責任者	キャメロン・ヘザリントン	氏	経済開発部門主要投資リーダー	スチュアート・パーソンズ	氏
ピーター・フラナリー	氏	モートンベイ市長														
ポール・マーティン	氏	経済開発部門最高責任者														
キャメロン・ヘザリントン	氏	経済開発部門主要投資リーダー														
スチュアート・パーソンズ	氏	サンシャインコースト大学 理工学部学部長														

オーストラリア・クィーンズランド州・モートンベイ市について

クィーンズランド州の南東部にあり、ブリスベン国際空港から市街地まで車で 40 分。人口は約 50 万人でオーストラリアで3番目に大きい人口が多い。面積は 2045 km²。2023 年 7 月にモートンベイ地域からモートンベイ市に改名された。主要産業は観光業・製造業・農業である。

来訪者について

□ ピーター・フラナリー 氏 モートンベイ市長

元オーストラリア陸軍兵士。長年モートンベイ地域議会議員を務め、2020 年にモートンベイ地域の首長に初当選しました。2024 年 3 月に再選し、現在 2 期目を務めています。1 期目は急激な人口増加による住宅危機への対応に尽力されました。現在は 2032 年開催のブリスベンオリンピック・パラリンピックに先立ち、大規模なインフラ工事等重要プロジェクトの先導指揮を執っています。



□ ポール・マーティン 氏 経済開発部門最高責任者

民間と公共の両方の経験を持ち、民間企業では CEO を務めた経験があります。また、元外交官で、オーストラリア貿易投資委員会(オーストレード)の上級貿易投資委員及びマレーシアとブルネイへの商務大臣(カウンセラー)を務めました。他にもインドネシア、メキシコ、中央アメリカ、カリブ地域への海外派遣の経験があります。現代アジア研究の学士号と創業経営学の MBA を持ち、語学が堪能です。

□ キャメロン・ヘザリントン 氏 経済部門主要投資リーダー

市への投資を呼び込み、経済成長を促進する戦略的イニシアチブを推進しています。金融サービス、経営コンサルティング、政府、小売など、様々なセクターでの 25 年以上のグローバルマネジメントの経験があります。現職に就く前は、複数の国で上級エグゼクティブの役職で、国際戦略と運営イニシアチブを監督していました。MBA と環境科学の学士号を持っています。

□ スチュワート・パーソンズ 氏 サンシャインコースト大学理工学部学部長

コウモリの音響に関する研究をしており、世界的に著名な動物学者です。2001 年～2014 年までニュージーランドのオークランド大学、その後はブリスベンのクィーンズランド工科大学で生物学・環境科学部長の職に就いていました。サンシャインコースト大学には 2022 年に着任しました。研究分野は感覚生態学と動物行動学で、コウモリだけでなく、鳥や昆虫、クジラなども研究対象です。これまで 80 以上の論文を発表し、世界の研究者と共同研究を行っています。

【別紙 2】

○歓迎セレモニー

- 1 日 程 令和6年10月4日（金）10：00～10：30
- 2 場 所 山陽小野田市役所 1階ロビー
- 3 内 容 日の出保育園年長児によるオープニングアクト、花束贈呈、藤田市長歓迎あいさつ、記念撮影ほか

○市長表敬訪問

- 1 日 程 令和6年10月4日（金）10：40～11：00
- 2 場 所 山陽小野田市役所2階 市長応接室
- 3 内 容 記念品贈呈、記念撮影ほか

○市議会表敬訪問

- 1 日 程 令和6年10月4日（金）11：10～11：30
- 2 場 所 山陽小野田市役所3階 議場
- 3 内 容 市議会議長歓迎あいさつ、モートンベイ市長あいさつ、記念撮影

○赤崎小学校訪問

- 1 日 程 令和6年10月4日（金）12：00～14：30
- 2 場 所 赤崎小学校
- 3 内 容 学校給食実食（6年生教室）、授業参観（5年生を除く全学年）、かるた体験（4年生、体育館）

○中学生海外派遣事業帰国報告会

- 1 日 程 令和6年10月4日（金）17：00～18：00
- 2 場 所 Aスクエア 2階 会議室1A・1B
- 3 内 容 藤田市長あいさつ、派遣生徒8名による帰国報告、講評

※別途記者発表を送付しています。

○山陽小野田市立山口東京理科大学訪問

- 1 日 程 令和6年10月5日（土）10：00～14：00
- 2 場 所 山陽小野田市立山口東京理科大学
- 3 内 容 大学の概要説明、学内見学、意見交換

○その他の滞在中のスケジュール（予定）

5日（土）

14：30～15：30 酒造場見学（永山酒造合名会社）

16：00～17：15 ガラス製作体験と見学（きららガラス未来館）

<取材にあたってのお願い>

- ・ 時間は予定であり、前後する可能性がありますので御了承ください。
- ・ 10月4日の市役所での行事（歓迎セレモニー、市長表敬訪問、市議会表敬訪問）と中学生海外派遣事業帰国報告会以外の行事を取材される場合は10月2日（水）までに市民活動推進課（電話 0836-82-1134）に事前の御連絡をいただきますようお願いします。

オーストラリア モートンベイ市との交流について

平成 2 年 1990 年	姉妹都市レッドクリフ市出身のタミー・ビューコルズさんがサビエル高校に 1 年間留学生していた。帰国後、彼女は小野田市の良さをその当時のレッドクリフ市長に報告し、その後レッドクリフ市から、姉妹都市提携の話が持ちあがってきた。平成 3 年に双方で調査団を派遣し、平成 4 年 8 月 1 8 日に姉妹都市提携の調印が行われた。
平成 3 年 7 月	姉妹都市提携調査団派遣（レッドクリフ市）
1 0 月	レッドクリフ市姉妹都市提携調査団来小
平成 4 年 8 月 1992 年	姉妹都市提携団派遣（レッドクリフ市） 8 月 1 8 日 小野田市・レ市姉妹都市提携
9 月	レッドクリフ市中学・高校生来小
1 0 月	レッドクリフ市親善視察団来小
平成 5 年 8 月 1993 年	教育事情調査団派遣（レッドクリフ市）
8 月	親豪友の会レッドクリフ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流）
9 月	レッドクリフ市高校生来小
1 0 月	物産展派遣（レッドクリフ市） 日・豪親善クロッケ交流団レ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流）
1 2 月	高泊小学校・コロタフビーチ小学校姉妹校提携 高千帆小学校・スカボロフ小学校姉妹校提携
平成 6 年 4 月	赤崎小学校・ハンピーボング小学校姉妹校提携
7 月	文化使節団派遣（レッドクリフ市）
9 月	レッドクリフ市高校生来小
1 1 月	レッドクリフ市ダンシングチーム親善団来小
平成 7 年 2 月	須恵小学校・キップリング小学校姉妹校提携
8 月	スポーツ事情調査団派遣（レッドクリフ市） 少年サッカー使節団レッドクリフ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流）
9 月	スウエル・陽子氏来小 講演会
1 0 月	レッドクリフ市親善使節団来小
平成 8 年 2 月	西部石油獅子舞一座レッドクリフ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流）
5 月	小野田風の会レッドクリフ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流）

資料：姉妹都市締結までの経緯と現在までの交流の経過

9月	小野田市連合婦人会レッドクリフ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流） たんぽぽの会レッドクリフ市訪問交流（レッドクリフ市・民間交流）
11月	女性活動事情調査団派遣（レッドクリフ市）
平成9年 1月	テニス親善交流（試合）（レッドクリフ市・民間交流）
平成9年 1997年 8月	姉妹都市交流5周年記念訪問（レッドクリフ） 青年活動事情調査団及び議員海外視察団派遣（レッドクリフ市） 派遣期間8月27日～9月3日の間ブリスベン市・レッドクリフ市・パラマタ市の視察を行い、8月29日及び30日にレッドクリフ市長に表敬訪問、市内小学校・幼稚園交流訪問、記念植樹・夕食会を行った。
10月	レッドクリフ市親善使節団来小 レッドクリフ市ダンシングチーム来小
12月	レッドクリフ市女子高校生来小
平成12年 6月	レッドクリフ市オリンピック聖火リレーツアー（レッドクリフ市・民間交流）
11月	レッドクリフ市親善使節団来小（60周年記念式典出席）
平成14年 7月	レッドクリフ市高校生来小（小野田市で受入）
平成14年 2002年 8月	小野田市・レッドクリフ市姉妹都市提携10周年記念訪問（レッドクリフ市） 姉妹都市を提携した平成4年8月18日から、ちょうど10年目の節目を迎える平成14年8月18日、前市長のバリー・ボルトンさんをはじめ、毎年小野田市から派遣される中・高校生のホームステイ受け入れ先家庭など、小野田市になじみの深い方々、約100人が列席して、10周年記念式典がレッドクリフ市で開催されました。その席でアレン・ボルトン市長と杉原記美が「姉妹都市提携10周年記念宣言」に署名し、これから先の更なる友好・親善を誓いあいました。 訪問団一行は、20日までの滞在期間中、さまざまな歓迎行事に招かれる一方で、手芸・書道などの文化交流も行った。 （滞在期間8月17日～8月19日）
平成15年 7月	レッドクリフ市写真家来小
平成16年 1月	エスペラント語オセアニア大会出場（レッドクリフ市・民間交流）
7月	レッドクリフ市ダンシングチーム来小
平成17年 3月	小野田市が合併し山陽小野田市に
6月	姉妹都市子ども写真コンテスト開催 レッドクリフ市のオーストラリア内の姉妹都市であるウinton市との姉妹都市10周年記念として3市合同による子どもコンテスト 入賞作品はレッドクリフ市及びウinton市で開催する写真展で紹介。
平成18年 4月	レッドクリフ市ビューコルズ夫妻来市

資料：姉妹都市締結までの経緯と現在までの交流の経過

平成18年12月	レッドクリフ市高校生来市 (12月2日～6日) 4泊5日のホームステイ
平成19年 2007年	姉妹都市子ども写真コンテスト開催 ※姉妹都市15周年事業は開催なし
10月	レッドクリフ市高校生来市(10月1日)
平成20年 3月	レッドクリフ市が合併しモートンベイ市に
8月	モートンベイ市に友好訪問団派遣(8月4日～10日)
平成21年 9月	モートンベイ市高校生来市(9月26日～29日) 3泊4日のホームステイ
平成22年10月	<u>10月18日モートンベイ市と山陽小野田市で再調印</u> ※モートンベイ市長が調印したものを山陽小野田市に送付し山陽小野田市長が調印 モートンベイ市から学生の来市なし
平成23年 9月	モートンベイ市高校生来市(9月23日～27日) 4泊5日のホームステイ
平成24年 2012年	モートンベイ市から学生の来市なし ※姉妹都市20周年事業は開催なし
平成25年 9月	レッドクリフ・ステート・ハイスクール来訪団 3泊4日のホームステイ
平成26年	モートンベイ市から学生の来市なし
平成27年10月	レッドクリフ・ステート・ハイスクール来訪団受入(中止) レッドクリフ・ステート・ハイスクールの引率者の都合により日本への滞在日数が短くなり山陽小野田市に訪問できなくなったため
平成28年	
平成29年 2017年	中学生海外派遣事業にて記念セレモニー 派遣生徒がサザーランド市長と会う。市・市国際交流協会からお土産を郵送にて送付しており、その場で披露。藤田市長からのビデオメッセージも送っている。 姉妹都市提携25周年記念式典を開催 モートンベイ市長以下4名来市(9月3日～6日) 市役所にて記念式典。市内の施設や企業を訪問。
平成30年	中学生海外派遣事業派遣生徒数を6名から8名に増員。引率者も2名に増員。
平成31年・ 令和元年	・中学生海外派遣事業 生徒8名派遣・引率2名 ・高千帆小・有帆小・高泊小の生徒の作品をスカーバラ小へ送る。 ・オーストラリアで大規模な森林火災が発生。市役所にて寄付金を募る。 ・令和2年3月9日サンシャインコースト大学モートンベイキャンパスのオープンイベントが現地大学にて開催された。藤田市長へ招待状が届いたが、議会の時期と重なり参加を辞退し、大学へは祝電を送付した。

資料：姉妹都市締結までの経緯と現在までの交流の経過

令和 2 年	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中学生海外派遣事業を中止した。(派遣生徒募集前、委託業者決定前に中止を決定した。) ・モートンベイ市長選により、Allan Sutherland 市長から Peter Flannery 市長へ交代した。
令和 3 年	・新型コロナウイルス感染拡大が収まる見通しが立たないため中学生海外派遣事業を中止した。(派遣生徒募集前、委託業者決定前に中止を決定した。) ・レッドクリフ・ステート・ハイスクール来訪予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になった。 ・姉妹都市→友好都市へ名称を変更することが、モートンベイ市会議で決定した旨手紙が届いた。
令和 4 年 2022 年	・新型コロナウイルス感染拡大が収まる見通しが立たないため中学生海外派遣事業を中止した。(派遣生徒募集前、委託業者決定前に中止を決定した。) ・姉妹都市締結 30 周年を記念し、オンライン式典を開催した。式典では、記念品の交換や記念動画の紹介などが行われた。また、両市の関係を、姉妹都市から友好都市へ変更し、友好都市協定を改めて結んだ。
令和 5 年	・コロナ禍で休止していた中学生海外派遣事業を再開。 ・中学生海外派遣期間中の 8/18 にオンライン市長会談を行った。(本市側の出席者…市長・副市長・教育長・協創部長。モ市側から引率者も参加した。) ・10/29～10/31 2 泊 3 日でモ市経済開発部門最高責任者のポール・マーティン氏が本市を訪問。ガラス展(萩展)鑑賞・中学生海外派遣事業派遣生徒との懇談会・永山酒造訪問・市長表敬訪問・市内企業(長州産業・中電)視察・サビエル高校訪問・理科大訪問を実施した。 ・3 月にピーター・フラナリー市長が再選(2 期目)。ポール・マーティン氏も現職に再任された。
令和 6 年	・中学生海外派遣事業実施。引率者は市職員 2 名(今回は教育部長、担当課職員)の体制に変更。 ・中学生海外派遣期間中の 8/6 にオンライン市長会談を行った。(本市側の出席者…市長・副市長・協創部長。モ市側から引率者も参加した。) ・9/18 レッドクリフ・ステート・ハイスクールの日本語専攻クラスの生徒 21 名と引率教諭 3 名が修学旅行の一環で本市を来訪(日帰り)。同スクールの訪問は平成 25 年以来となった。

■なお、市主催事業として平成 4 年から夏休みに学生を対象とした海外派遣事業を毎年行っている。(平成 21 年度はインフルエンザ流行により中止。令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。)